

# 岩城光英の永田町だより vol.246

師走になりました。師をも走らず忙しい月、と言われる一年で最も気忙しい月です。仕事の忙しさに加え、夜のお付き合いも重なる時です。どうぞ風邪などには呉々もご留意願います。

昨日（11月30日）は、久しぶりの党首討論が行われました。APEC や各国首脳との会談も行われていたため、「討論」すべき内容はいくつもありましたが、皆様はどんな感想を持たれましたか？ 谷垣総裁、公明党の山口代表の「国益とは何か？」「説明責任を果たしていない」という、国民の多くが望んでいる（最近の世論調査では、総理が説明責任を果たしていないという回答が80%を越えています）質問に対して、総理は答えをはぐらかしている、という印象を、私は強く持ちました。

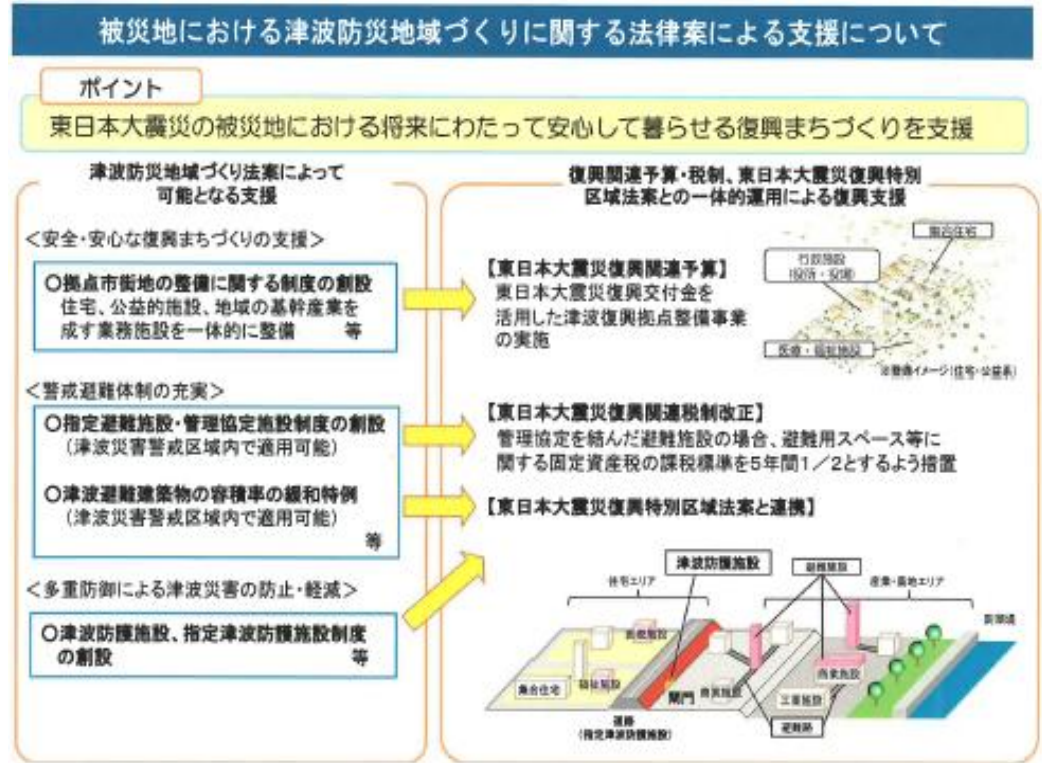
2年前の衆院選で圧勝した原動力は、“マニフェスト”という、出来もしない耳触りの良い選挙公約でしたが、今では財源も“発掘”できず、「詐欺フェスト」と揶揄されています。

震災復興が日本の再生につながる、と言った総理就任当時の誠実さを、今こそ地に足をつけて実践して欲しいものです。

さて、今号では、被災地における津波防災について、お知らせいたします。

## 「被災地における津波防災づくり」について

津波などの災害に備え、将来にわたって安心して暮らす



ことのできる安全な地域整備を、総合的に進めることが求められています。

津波災害に強い地域づくりのため、全国で活用可能な一般的な制度を創設する必要があります。【安全・安心な復興まちづくりの支援】住宅・公益的施設・地域の基幹産業を成す業務施設を一体的に整備する。【警戒避難体制の充実】指定避難施設・管理協定施設制度の創設、津波避難建築物の容積率の緩和特例 【多重防衛による津波災害の防止・軽減】津波防護施設等

これらを、東日本大震災復興関連予算、同関連税制改正、復興特区法案と連携して進めようとするものです。地元との協議が進むよう、後押しをしてまいります。

## 「問われる任命責任」

北野湘南

防衛の素人と発言するだけでなく国王歓迎の宴席を欠席して平然としている一川防衛相、マルチ商法の疑いのある業界団体の集会に出席して業界賛美の演説をする山岡消費者問題担当相、死刑反対と執行にサインをしない平岡法務相。いずれも閣僚としての資質を問われても仕方ないだろう。と、同時に任命した野田首相の責任はそれ以上に重いものがある。

一川防衛相は、天皇主催のブータン国王歓迎会に欠席しただけでなく同僚の民主党議員の会合に出席して「国王の歓迎会よりもこちらが大事」と発言している。それどころか、この問題を追及されると「国王におわびの手紙を書く」とも平然と答えており、一国の国王に一閣僚が手紙を出すことが、極めて非礼に当たるという当たり前の常識も全く無い。防衛相就任時に「防衛の素人、これが本当のシビリアンコントロール」との問題発言などから見ても閣僚としての資質が完全に欠けている。

山岡消費者担当相は、就任時からマルチ商法まがいの業界団体との関係が問題になっていた。その指摘どおり業界団体の集会で「このような業界に大きくなって欲しい」と業界団体の集会に出席して賛辞の演説をしていることが、判明した。マルチ商法は、何度も大きな社会問題に発展し法律で厳しく規制しているが、法の目を潜る業者が絶えず消費者庁でもマルチ商法に十分気をつけるよう国民に呼びかけている。その消費者行政のトップに就任した。開いた口が塞がらないとはこのことだろう。

平岡法務相は紙型反対論者として知られており、執行の

サインをしないと表明している。江田前法務相も死刑反対の立場から死刑執行にサインをしていない。このため死刑判決が確定したものの執行されない死刑囚が100人を上回った。この中にはオウム真理教の信者でサリンの製造に関わった人物や、散布して多くの死傷者出した事件で必要な役割を担った者も含まれる。法務相は死刑の確定した死刑囚に対して執行を命じることが義務付けられている。死刑に反対で執行のサインをしないのであれば就任を求められた時点で断ればよいのだ。大臣のポストは欲しいが、義務を果たすのは嫌などという自分勝手は許されない。

安住財務相は、円高が進行する中で「超円高を放置することは出来ない」と何度も口先介入した。為替相場のようにハゲタカファンドが、跳梁跋扈する市場に口先介入することは百害あって一利なしであることは、市場関係者なら誰でも知っている。この言葉通り財務省と日銀は為替市場で円買いの介入に踏み切ったが、10日も経たないのに為替相場はほぼ元に戻っている。市場への理解も不十分な人物が財務相では、日本経済を崩壊させかねない円高の是正などできるはずがないだろう。

蓮舫行政刷新相はブータン国王の宴席で携帯電話をしていた。重要な席で携帯電話を使用しないという子供でも知っている常識も守れないようだ。そして、他省庁の権限への発言を繰り返し、周辺からも顰蹙をかう小宮山厚生労働相。野田内閣の閣僚の資質問題を取り上げたら切りがない。政権を担ったことの無い民主党が、人材不足であることは事実だ。だが、資質に欠けるとされる人物が、閣僚として重要な政策の陣頭指揮を執るのでは国民は堪らない。野田首相には任命した責任がある。